

令和５年度 主要施策の成果（概要）について

令和５年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法における位置付けが５類に移行し、社会経済活動の正常化が進んだ一方で、エネルギー・食料品価格等の物価高騰が継続し、日常生活や事業継続にとって困難な状況が続きました。

この状況に対応するため、本町では、全住民への１人３,０００円と５,０００円の２回にわたる地域振興券の配布、小中学校給食費の無償化や保育料第２子無償化など、物価高から住民生活を下支えするとともに、子育て世帯への支援の充実などの取組を時機を逃さず迅速に対応しながら、各分野できめ細かな取組を実施しました。

また、令和２年度から計画的に推進してきた文化ホール「キターネホール」・公民館「かむかむプラザ」の整備事業が完了し、令和６年４月１日から一般利用を開始することができました。今後も、各種事業を通じて、多くの方に愛される施設をめざしてまいります。

●主要施策

１ 防犯、防災

- ①防犯カメラの増設（１０３台→１５０台）拡充
- ②区・自治会管理の防犯灯の電気代への補助率の拡充（３分の１→１０割）拡充
- ③「地区別自主防災マニュアル」の作成支援（新たに８組織で作成、令和５年度末１６組織作成済）拡充
- ④避難所運営マニュアルの作成支援（新たに北小学校区で作成）NEW
- ⑤女性防災士育成研修の実施（６４名資格取得）NEW

２ 子育て、保育

- ①助産師による産前産後における電話相談・家庭訪問による相談体制の充実拡充
- ②乳幼児健診時の問診票や健診結果のデジタル化（子育て支援アプリ「くまっこナビ」の機能拡充）NEW
- ③保育のICT化（全町立保育所の子どもの登降園管理や保護者との連絡のデジタル化、不審者侵入の未然防止や子どもの見守りを補完するカメラの設置）NEW

３ 学校教育、文化・芸術

- ①スクールソーシャルワーカー２人増員（全町立小中学校に１人ずつ、合計８人配置）拡充
- ②中央小・西小校舎増築に向けた設計、東小大規模改造工事の完了拡充
- ③全小中学校トイレ洋式化目標を１００％達成拡充
- ④中学校部活動の地域移行に向けた体制整備として部活動指導員を配置（各中学校に合計７人配置）NEW
- ⑤史跡土丸・雨山城跡へのバイオトイレの設置NEW

4 健康・長寿、保険・医療

- ①タピオステーションの立上げ支援（新たに2箇所立上げ、令和5年度末時点28箇所）**拡充**
- ②「乳がん・子宮頸がん・胃がん（エックス線検査）・肺がん・骨粗しょう症」検診の自己負担分を無償化**NEW**
- ③個人の検診履歴を踏まえた予約受付やプッシュ型の受診勧奨ができる「がん検診等 web 予約システム」の導入**NEW**
- ④「がん患者医療用ウィッグ等購入費助成事業」の開始（補助金活用18件）**NEW**

5 高齢者福祉、障がい者福祉、地域福祉

- ①「ふれあい元気教室」の受入体制の充実（年間3クール制→随時受入）**拡充**
- ②障がいがある方の居場所づくりとして実施している「地域活動支援センター事業」において、定期的な活動場所を新たに町内で開設**拡充**
- ③人工呼吸器用発電機等を助成対象に追加（補助金活用1件）**拡充**
- ④「相談支援包括化推進員」の増員による相談体制の充実（1人増員し、令和5年度末時点2人配置）**拡充**

6 道路・交通、下水道

- ①大阪岸和田南海線事業推進、大阪外環状線4車線化、泉州山手線事業化に係る要望活動の実施**継続**
- ②道路・歩道の舗装修繕に係る計画の更新及び同計画に基づく舗装修繕（4,149㎡）**拡充**
- ③久保交差点及びキターネホール前の横断歩道に「横断者注意喚起灯」を設置**NEW**
- ④公共下水道工事の実施（小垣内・久保・大宮・和田地区、令和5年度末人口普及率84.6%）**継続**

7 公園・自然環境、循環型社会

- ①奥山雨山自然公園東ハイキングコース等の階段更新**NEW**
- ②カーボンニュートラルの実現に向けた本町の取組事例や、国、大阪府等の支援情報などを一元化して発信する特設サイト「熊取×ゼロカーボンチャレンジ！」を開設**NEW**
- ③公用車に電動車2台導入 **NEW**

8 商工業・サービス業、観光・交流

- ①「産業活性化基金事業補助金」を活用した事業者の支援（95件補助金活用）**継続**
- ②「和田山 Berry Park」の運営支援（ブルーベリー狩り体験に開園以来最高の692名来訪）、ブルーベリー農園の運営事業者や飲食店と連携したブルーベリーを使った特産品の開発（新たに8品を「くまとりやもん♪」に認定）**継続**

9 行財政運営、シティプロモーション

- ①汎用電子申請システムの導入（13件の手続きをオンライン化）**NEW**
- ②各 SNS の特性を活かした戦略的な情報発信（LINE、Instagram、YouTube）**拡充**

●各会計別決算状況

1 一般会計

歳入総額 (A)	179 億 1,891 万 1,631 円
歳出総額 (B)	176 億 1,724 万 8,597 円
翌年度繰越財源 (C)	2 億 4,124 万 6,245 円
実質収支額 (D)	6,041 万 6,789 円 【(A) - (B) - (C)】

2 特別会計

	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	実質収支額 【(A) - (B)】
国民健康保険事業	46 億 8,444 万 7,250 円	46 億 6,164 万 712 円	2,280 万 6,538 円
後期高齢者医療	8 億 7,489 万 4,015 円	8 億 6,999 万 3,912 円	490 万 103 円
介護保険	38 億 4,727 万 5,884 円	38 億 516 万 9,304 円	4,210 万 6,580 円
墓地事業	2,109 万 2,805 円	2,109 万 2,805 円	0 円

3 公営企業会計

下水道事業会計

総収益 (A)	10億9,524万3,983円
総費用 (B)	10億7,769万3,432円
当年度純利益 (C)	1,755万 551円 【(A) - (B)】
その他未処分利益剰余金変動額 (D)	4,579万6,000円
当年度未処分利益剰余金 (E)	6,334万6,551円 【(C) + (D)】